



アオサ収穫に珍客が飛来

長島町に面する八代海沿岸は、本町特産のアオサ（ヒトエグサ）の生産地で、1月から5月にかけて収穫の時期となります。

諸浦島の葛輪漁港では、収穫作業が最盛期を迎えたこの時期に、越冬のため中国方面から飛来した野鳥の“ショウビタキ”が、収穫の作業に一汗流してくれています。

実はこの鳥、アオサの洗浄に使ったタオルに付いている小さなエビなどが狙い。作業後、タオルを干すと人間を怖がらずせせと獲物をついばみ、1時間もするときれいにしてしまいます。

同漁港で収穫作業していた前田櫻さんは「作業中は毎日来るのでかわいくなった。たくさん食べて古里に帰る力を蓄えて」とやさしく見守っていました。